

連合町内会活動報告

第37回三原市

グラウンドゴルフ選手権大会

担当 頼兼 義詔

生涯スポーツ推進の一環として、健康づくりと安全で身近なスポーツを楽しむために本大会は毎年開催されています。

雨が続き大会の開催を心配していましたが、晴天に恵まれ、3月13日(木)やまみ三原市陸上競技場にて、行われました。

本大会は、各1チーム(3名)の団体戦で、1、24ホール(8ホールを3コース)の合計打数で競技され、順位を決定します。

私たち深町地区も昨年と同様に日頃練習しているメンバーを中心に、3チーム(9名)エントリーしました。当日は、久井(1)、大和(4)、本郷(12)、三原(65)のチーム、246名の参加でおこなわれ、私達深町チームは、頑張りましたが、あと一步のところまで入賞とはなりませんでした。

ホールインワン賞は、沢山の方が、受賞されました。

林洋祐、高篠尚子、池田正夫、谷岡義明、石井張司(順不同)

参加していただいた方々、天候に恵まれ楽しい一日を過ごすことができました。お疲れさまでした。



深町子どもを守る会

子どもをみんなで

守りましょ。

深小の子供は



○午後3時半頃

下校します。

日により下校時間が

異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなは

見守りましょ。

○あいつ

声かけをましょ。

深小だより

新年度を迎えて

深小学校長

三月二十一日(金)に、「第七十八回 三原市立深小学校卒業証書授与式」を行いました。全校児童が力を合わせて植え、育てたパンジの花々にも見守られながら、5名の卒業生がそれぞれの進路に向かって胸を張って巣立っていきました。

また、三月二十五日(火)には、修了式を行い、令和六年度を無事に終えることができました。

この一年間、学校教育活動についても温かくご支援・ご協力いただきました地域や保護者の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、四月一日からは新年度の始まりとなります。この度の人事異動で、職員の異動がありましたので、お知らせいたします。

◇ 転出する職員

校長 山田 浩美
竹原市立仁賀小学校へ

主事 大埜 和音
福山市立泉小学校へ

◇ 退任する職員

教諭 太田 陸
教諭 有吉 薫代

◇ 転入する職員

校長 加藤 法子
三原市立沼田西小学校より

教諭 元風呂 まい
尾道市立因島小学校より

特別支援介助員 久保井 真千子

三原市立第一中学校より

今年度は、新入学児童二名、転校生一名が加わる予定です。四月九日の入学式を全校児童、教職員ともに楽しみにしているところです。「課題発見・解決力」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を高めるべく、さらに豊かな教育活動が推進できるように「チーム深」として取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

歩く会は、後日案内いたします。

第二中学校だより

中学校生活の思い出

石井 航平

ぼくが中学校で学んだことは、田舎で育ったぼくが都会に行って友達作り方です。

ぼくが行っていた深小学校は、生徒が少なく同級生が9人しかいませんでした。それが卒業して一学年百人以上こえる中学校に入りました。

人は多いし名前もわからんやっばつかでさいしよは、楽しくなかつたです。

でも入学してうしろの席に名字に石がつく人と仲良くなりました。多分その人とすぐ仲良くなれたのは、いろいろと似た者同士だったからだと思います。

高校は違うけどこの経験を高校で生かします。

坂本 優衣

私が中学校生活で印象に残っていることは、最後の文化祭です。

わけは、文化祭で合唱コンクールが行われたときに三年部の先生たちが泣いてくださり、とてもうれしかったし、卒業式もいいものにしよと思つたからです。

また、三年生全員で劇を一つからつくってやったからとても楽しかったし、本番うまくいってうれしかったからです。

高校生になつてがんばりたいことは部活動と友達づくりです。

理由は、部活動は中学校からやっているバレーボールをまたやるのでたくさん努力してチームに貢献できるようにしたいからです。

また、高校は中学校よりもっと人が増えるし、三原市以外から来る子もたくさんいるから新たに友達をつくって充実した学校生活を送りたいので、友達づくりをがんばりたいです。

徳永 拓海

私は中学2年生の時に、生徒会に立候補してみないか?と、聞かれて私は悩んだ末に、「自分の積極性を高めたい」という気持ちから会計にならせていただきました。そして、その生徒会活動の中でも嬉しかった経験があります。それは、文化祭でのオーブンゲーム作りです。この活動では、生徒会を中心に、オーブンゲーム作りをさつえいして編集すること、15分ていどの動画をつくることです。

私は最初、「15分なら、さつえいとか全部パッとおわる」と考えていましたが、それは想像以上にキツくてとてもギスギスする長さもありました。ですが先生や会長を中心に頑張ること、間に合っても嬉しかったです。

深町各種団体四月行事予定

◆連合町内会	◆上・中・下町内会	◆小学校	◆如水館中学・高校
▼定期総会	▼上・中組定期総会	▼就任式・始業式	▼始業式
20日	13日	給食開始(2~5年)	入学式
	6日	入学式	入校オリ
	日	▼学区児童会・委員会活動	身だしなみチェック
	日	給食開始(1年)	▼通学区会 委員会(中)
	日	▼内科健診	▼進路ガイダンス(2・3年)
	日	▼眼科健診	▼授業参観・保護者会(中)
	10日	▼参観日・学級懇談会	▼胸部レントゲン(高1)
	11日	PTA全体会議	▼全国学力調査(中)
	16日	第1回学校運営協議会	進研総合学力記述模試(高3)
	11日		▼体育祭予行演習
	15日		▼第一回全統共通テスト模試(高)
	15日		▼第一回全統共通テスト模試(高)
	8日		▼第一回全統共通テスト模試(高)
	7日		▼体育祭
	9日		▼体育祭予備日
	9日		302928日

松尾 玲那

わたしが中学校でがんばってきたことは、二つあります。一つ目は勉強です。私は一年のころはあまり成績がよくない方でしたが、あきらめずに勉強して成績が上がってきました。また、第一志望の高校に合格することができました。

二つ目は部活動です。私は入ったばかりの吹奏楽部で、チューバを担当することになりましたが、だんだんリズムもとれるようになり、音程も丁度いい音が出るようになりました。

また、同じ部活動の友達ができるようになり楽しいです。高校生になつても勉強と部活動の両立をがんばっていききたいです。

サロン深つかふかだより

協力者一同

4月から4年目を迎えるサロン深つかふかの活動です。毎週水曜日の活動は、3年間で154回を数え、集った人はのべ2,330人にもなります。「サロンが楽しみ」「元氣になった」と言ってくださる方も多く、協力者一同、嬉しい限りです。

4月は新しいことを始める良いタイミング！新しい方のご参加も大歓迎でお待ちしております！

4月16日は、サンライズ大池さんを訪問しハンドベルを演奏させていただきます。昨年の深町連合町内会の敬老祝賀会での演奏をきっかけに、今回の訪問につながりました。ご関係の皆様へ感謝いたします。ドキドキの緊張を楽しみに変えて、心を込めて演奏します。

4月の予定

- 水曜日 10時～11時30分
- ・2日…ハンドベル
- ・9日…脳トレ、ボッチャ
- ・16日…ハンドベル
- ・23日…介護技術ミニ講座（杖の付き方、階段の降り方）

★毎回最初の30分は「いきいき体操」です。

- 持つてくるもの
- ・飲み物・室内シューズ
- ・長いタオル（体操に使います）

Instagramで活動の様子を発信しています。



https://www.instagram.com/fukama_chi.ochanoma/

問い合わせ先（安藤）
090-5265-3835



アヤメ

TBG協会だより



三原市・月例ターゲット

バードゴルフ大会



三原市TBG月例会大会が、3月22日（土）に18名の参加で深町・城山コースにて行われました。

成績は、次の通りです。

- 1位 谷岡 義昭
- 2位 笠井 隆三
- 3位 西田 寛
- ベスグロ 68 林 洋祐
- 2人組戦1位 笠井 隆三
- 山内 好己
- ホールインワン 井上 幸子

※選手の敬称略

次回の月例会は、4月19日（土）に、行います。

TBG協会

事務局 山内 好己

高齢者相談センター

どりのいむだより



高野相談センターどりのいむ
三原市上町6丁目31番号
電話 61-4410

「連携」が大切な今、高齢者などの地域生活を支える仕組み「城町・港町地区福祉懇談会」に参加して

日時：2024（令和6）年11月18日（月）13:30～15:30
参加者：城町・港町地域の民生委員
児童委員

- 小規模多機能型居宅介護事業所
- 居宅介護支援事業所
- 高齢者相談センター
- 三原市社会福祉協議会
- 三原市社会福祉課



三原市では、高齢化率が36%を超え、高齢者に占める介護保険認定率は20%に迫り、地域生活に何らかの支援が必要な世帯が増加しています。近年は福祉の課題が見えにくい世帯や、支援を

望まない事例も増えています。地域生活支援について、支援者の連携が不可欠になっていきます。そこで、関係機関の役割を理解し、関係性を構築することを目的に、地域福祉懇談会が開催されました。（令和6年度城町・港町地域福祉懇談会実施要項より）



パネルディスカッション「～相談したあとどうなるの？～」では、民生委員児童委員、高齢者相談センター、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護の代表者が登壇。事例をもとに、それぞれの立場でできること、実際にしていることを話し合いました。



グループワークでは、認知症の人が地域で住み続けるために、地域の周囲の人への働きかけやふれあいにはどのようなものがあるのか？、会えない人に会うための工夫は？など自由な情報交換を行いました。こうしたことを通じて、それぞれの役割を理解し、連携が深められていくのだと感じています。



高齢者相談センターでは、「連携」「つながり」によって、支援対象者やご家族、地域の皆様が安心して過ごせるように働きかけをしていきます。地域の民生委員児童委員、ケアマネジャー、社会福祉協議会、行政などさまざまな方々との連携を行っていきます。

高齢者相談センターどりのいむでは、高齢者の日常生活上のあらゆる相談に応じています。お気軽にご連絡ください。（相談は無料です）



ごみのポイ捨てはダメ
ごみのない
きれいなまちに



犬のフンは
飼い主が
責任を持って持ち帰しましょう！
飼い主のモラルに期待します。